

平成30年度 京都府立北嵯峨高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（最終段階）

学校経営方針	昨年度の成果と課題	本年度学校経営の重点
<p>「独創質実（何事も自ら考え、主体的に判断し、真摯な態度と素直なところで行動する。）」の校是の下、高校生活の限られた時間の中、集中力と工夫により学習と部活動の両立を実践し、「人を育て、心を育む」教育を目指す。</p> <p>具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 規律ある生活により、学力・体力・情操の向上を図る。</li> <li>2 科学的認識を養い、創造性と実践力を育てる。</li> <li>3 保護者・地域との連携を深め、生徒の進路についての願いを実現することに努める。</li> <li>4 地域の歴史と文化遺産に対する理解を深め、その文化を守り育てる力を養う。</li> </ol>	<p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保護者・学校評議員への授業公開や、全ての生徒・保護者アンケートの実施等により、開かれた学校づくりを進めた。</li> <li>(2) 生徒指導部と学年部等の連携により、落ち着いた学習環境を提供できた。</li> <li>(3) 教育相談会議を定期的に開催し、要配慮生徒の現状と今後の指導の在り方について合理的配慮と併せて検討した。</li> <li>(4) 地域連携及びホームページの充実並びにSNSの積極的な活用を推進し、広報活動を充実させた。</li> </ol> <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 進路希望実現 (2) 生徒の基礎学力定着と自学自習の育成</li> <li>(3) 教科指導力の向上と授業の工夫改善 (4) 交通安全意識の向上</li> <li>(5) いじめの根絶に向けた取組と指導体制 (6) 地域の自然、歴史、伝統文化等の教育資源を活用</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 内外における学校評価に基づき、生徒や保護者のニーズを的確に把握し、全教職員が連携協力して様々な教育活動を実践する。</li> <li>(2) 幅広い学力の生徒に対する個に応じたきめ細かい進路指導を行う中で家庭学習の習慣を養い、希望進路の実現を目指す。</li> <li>(3) 学習環境の整備に努めるとともに、学習意欲の向上と思考力、判断力、表現力の育成を目指して授業内容の改善、充実を図る。</li> <li>(4) 学習と部活動の両立と基本的生活習慣の確立により総合的な人間力の育成を目指す。特に部活動の一層の充実を図り、「強い北嵯峨」を取り戻す。</li> <li>(5) 合理的配慮の視点を持った教育環境の構築に取り組み、人権意識の涵養に努め、きめ細やかな教育相談・特別支援教育を推進する。</li> <li>(6) 地域に愛される学校をめざし、部活動やボランティア活動を通して地域へ本校の魅力を積極的に発信する。</li> </ol>

評価領域	重点目標	具体的方策	No	評価	成果と課題	
学習指導	◇教科指導力を向上させる。	◆学習効果を高め、基礎基本を徹底し学力を充実させながら、ICTの活用を含めた深い学びにつながる授業となるよう工夫改善に努める。	1	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTの効果的な活用に向けて、環境整備及び校内研修の開催等が必要である。</li> <li>・配慮についての認識を深め、個に応じた指導の在り方をより充実させたい。</li> </ul>
	◇特別支援教育を充実させる。	◆教職員で情報を共有し、合理的配慮の提供に努め、個々の状況に応じたきめ細やかな指導を行う。	2	B		
生徒指導 特別活動	◇愛校心を育成し基本的な生活習慣を身につけさせる。	◆制服の正しい着用を通じて、本校生徒としての自覚と誇りを養うとともに、基本的生活習慣の定着を図るために教職員が一致して指導する。	3	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制服の正しい着用は定着しているが、交通規則・マナーの遵守や、生活習慣の確立を重点的に指導する必要がある。</li> <li>・地域の奉仕活動は生徒会や部活動を中心に、より広く生徒に呼びかけることで、さらに多くの生徒の参加を促したい。</li> </ul>
	◇交通規則の遵守と交通安全に対する意識を高める。	◆関係各団体と協力し、交通規則の順守と、自転車の交通マナー及び交通安全に対する生徒の意識を一層向上させる。	4	B		
	◇生徒の主体性・社会性を育成する。	◆生徒会や部活動が中心となり、地域への奉仕活動に主体的に参加できるよう、社会性やボランティア精神を育成する。	5	A		
進路指導	◇希望進路の実現に向けて進路指導を行うとともに、キャリア意識の形成を図る。	◆学年部・教科担当者・部活動顧問が個々の生徒の学力状況・学習状況を把握し、3つの方向からの指導により、学力の向上と進路希望の実現を図る。	6	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携した指導を通して、さらに様々なデータ等を共有することで、生徒の学力向上や進路実現に結びつける必要がある。</li> <li>・高大接続改革を念頭に置き、新たな学力向上につながる取組を進めたい。</li> </ul>
		◆キャリア教育を充実し、生徒個々の進路意識の定着を図るとともに、就職率100%、大学進学率70%等を目標に個に応じた進路指導を充実させる。	7	B		
人権教育	◇人権問題を正しく理解させ、いじめの根絶を図る。	◆あらゆる教育活動に人権の視点を入れ、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決や、いじめ等の未然防止のための意識を高め態度を育成する。	8	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに幅広く人権意識を醸成するために、組織的かつ計画的な取組を続けたい。</li> </ul>
健康・安全 教育	◇配慮を要する生徒に対して適切な支援を行う。	◆保健部と担任や教科担当と情報の共有を図り生徒の状況を適切に把握し、教育相談会議等を活用して、配慮を要する生徒への支援を適切に行う。	9	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健部を中心とした情報共有を図ることで、適切で丁寧な指導を実現している。</li> <li>・清掃活動を充実させ、校内美化から学校を大切にする意識を持たせる必要がある。</li> </ul>
	◇教育環境づくりを推進するとともに、環境保護の意識を高める。	◆日々の清掃活動を徹底し学校の環境を整備するだけでなく、環境保護の意識向上に向けて生徒も教職員もゴミの分別を徹底する。	10	B		
図書館指導	◇図書館を活用した指導を充実させ、時代の要求に対応した図書館を目指す。	◆教科との連携を通じて生徒の読解力向上を目指すとともに、視聴覚機器を活用した授業を展開する。	11	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での図書館活用等、教科との連携は進んでおり、今後更なる活用が望まれる。</li> </ul>
安全管理 情報・文書	◇学校の危機管理体制を強化する。	◆全教職員が学校の危機管理対応について理解を深め、生徒の安心安全に適切な対応ができるようにする。	12	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理意識を共有し、特に安全確保のために下校時刻の検討も必要ではないか。</li> <li>・情報管理に対する職員の共通理解を徹底し、意識向上に努めなければならない。</li> </ul>
	◇学校の情報管理体制の徹底を図る。	◆生徒の多様な個人情報適切に管理し、学校の情報管理体制の充実と教職員のセキュリティ意識の向上を図る。	13	B		
家庭・ 地域社会と の連携	◇広報活動を一層充実し、速やかな情報提供を図る。	◆各中学校との連携を一層深め、HP等による情報発信を含む広報活動を充実させ、中学生から信頼される「選ばれる」学校づくりを進める。	14	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な媒体を通して広報活動が展開されており、非常に効果があったと考える。</li> <li>・地域や保護者に開かれた魅力ある学校づくりのために継続して取組む必要がある。</li> </ul>
	◇地域に信頼される学校づくりを進める。	◆学校評議員、学校関係者評価委員、PTAとの連携を深め、地域に信頼される学校づくりに努める。	15	B		
学校関係者 評価委員会 による評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導及び進路指導において、学力テスト及び模擬試験の積極的な活用等も含め、更なる指導の充実を図り、すべての生徒の希望進路の実現が望まれる。</li> <li>・自転車通学者に対するルール・マナーの遵守について、継続して指導を徹底してもらいたい。また、挨拶については年々改善が見られており、地域からの評判も変化してきている。</li> <li>・中学校や塾訪問、ホームページやSNS等の利用を通して、積極的に広報されているが、今後も一層中学校等地域の教育関係機関との連携を推進してもらいたい。</li> </ul>					
次年度に 向けた改善の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領を見据え、指導の改善を進めるとともに、基礎基本を確実に定着させ課題を解決できる力を育てることで、生徒の希望進路の実現に向けた指導を展開する。</li> <li>・身だしなみ、挨拶の励行、交通規則・マナーの遵守等に係る指導を粘り強く行い、生徒の自主性・社会性を育成しながら、安心安全な学校づくりを目指す。</li> <li>・地域の自然、歴史、伝統文化等の教育資源を活かすとともに、中学校をはじめとした幅広い連携を深めることで、地域から信頼され、選ばれる学校となるような取組を推進する。</li> </ul>					